

甲斐市立玉幡小学校 令和2年度 学校便り 第11号



チーム玉幡

令和2年7月22日

学校長 丸茂和也

「学校生活のようす(通信表)の見方」について

今年度より、全ての教育課程の基となる「学習指導要領」の目的と内容が、下記の3つの資質・能力で整理されました。昨年度までの評価は、各教科を単元別で行っていましたが、学習指導要領の目的と内容の整理に伴い、今年度から本校では、通信表での評価を新学習指導要領で求められる3つの資質・能力に合わせて行っていきます。

新学習指導要領で求められる3つの資質・能力は以下の通りです。

1. 「知識・技能」

「何を知っているか、何ができるか」という部分です。各教科で学ぶべき内容が身に付いているかが評価の対象となり、それが他の学習や生活の場面でも活かせる形で身に付いていることが重視されます。

2. 「思考力・判断力・表現力」

問題を解決する能力に関する力です。問題を見つけた時に、「知識・技能」を活用しながら、自分なりに考え工夫して解決まで導く力や、仲間と協力しながら問題解決の糸口を見つけていく力などを指します。自分の思いを表現していく能力も含まれます。



3. 「主体的に学習に取り組む態度」

「知識・技能」の獲得、「思考力・判断力・表現力」を身につけるための粘り強い取り組みや、その過程の中で試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を指します。

具体的には、選択式や空所補充の問題を解くだけでなく、知識を生かしながら記述したり、解決プロセスを論理的に表現したりすること。知識・技能を活用して自分なりに考え、工夫しながら発

表や討論を行ったり，レポートや作品を仕上げたりすること。そして，難しい課題に粘り強く挑戦する，失敗しても最後までやり抜く，みんなの前で自信をもって表現するというような，より広くより深い内容を身に付けることを目指すものです。

よって，特に目立った点がA評価（◎）となり，通常の場合はB評価（○），特に努力してほしい内容がC評価（△）となります。昨年度までの通信表とくらべて評価の観点が変更になるので，昨年とは異なる評価がつくこともあります。何とぞご理解をお願いいたします。

通信表に示す各観点の具体的内容は，年間を通して学習する内容の趣旨を示すものです。各学期に学習した具体的な単元や題材は，毎月の「学年便り」に記してありますので，ご確認ください。

また通信表の作成は，「校務支援システム」という全県下統一のシステムを用いて行われます。書式，レイアウト等は統一規格のために調整ができません。そのため文字の大きさや空間等に見づらい状況が生じる場合もあります。そして1学期の音楽・体育の「思考・判断・表現」に関する評価は，歌唱・器楽及び体育実技などの授業の中で，より良くするために話し合うという学習活動が含まれています。しかし今学期は学習活動に制限があり，その内容を見取る段階まで学習を進めることが叶わなかったために，全ての学年で今学期は評価をせずに，2学期以降に評価を行います。

以上のように新学習指導要領の趣旨に則り，各教科の本質を見据えながら，この3つの資質・能力を育成していくために，通信表の評価について改定を行います。

しかしながら通信表は，学校における子供の学習や行動の様子をご家庭に知らせ，学校と家庭が協力して子供を伸ばしていくことに役立てようとするものであることに変わりはありません。◎や△の数に一喜一憂するのではなく，優れた点や長所を伸ばしていく手がかりとしていただくと共に，これからの努力の指標にいただければと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。



